

## 京丹後ふるさと住民創出プロジェクト

【事業所管課】地域コミュニティ・にぎわいづくり課

<p>実現したい未来</p>	<p>京丹後市に関わる人々が、観光客や一時的な来訪者として終わるのではなく、「ふるさと住民」として継続的に地域と関わり続ける状態を実現する。</p> <p>地域外の人材や企業、学生、地域ファンが、地域課題の解決や地域活動への参画、空き家活用、副業やテレワーク、地域製品の購入など、それぞれの形で京丹後市を応援し、地域と共に成長する関係性を構築する。</p> <p>また、ふるさと住民を起点として、二地域居住や移住定住、地域の担い手創出につながる持続可能な関係人口循環モデルの構築を目指す。</p>	<p>想定する解決策</p>	<p>民間事業者等有する企画力、発信力、ネットワークを活用し、京丹後市との今後、数年間にわたる継続的な関係構築につながる取組</p> <p>【提案例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との交流を伴う関係人口創出ツアー</li> <li>地域課題解決型フィールドワーク</li> <li>企業向及び大学生向け地域研修プログラム</li> <li>ワーケーションや二地域居住体験プログラム</li> <li>地域ファンコミュニティの形成・運営</li> </ul> 
<p>現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務省において「ふるさと住民登録制度」が創設されようとしており、関係人口の創出・拡大に向けた取組が全国的に進められている。</li> <li>本市においても、二地域居住をはじめ、ふるさと住民の獲得に向けた取り組みを進めている。</li> <li>本市には年間約200万人の観光客、約年間30億円にのぼるふるさと納税の寄附者、など多くのファンが存在している一方で、それらの人々が継続的に地域と関わる仕組みコミュニティ形成は十分とは言えない状況である。</li> </ul>	<p>民間側の想定メリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな商品・サービスの開発及び販売機会の創出</li> <li>継続的な収益モデルの構築</li> <li>新たな顧客層の獲得及び市場開拓</li> <li>実証フィールドを活用した事業モデルの検証・横展開</li> <li>京丹後市との連携による事業価値及びブランド価値の向上</li> </ul>
<p>解決したい課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口を関係人口へ転換する仕組みが不足している。</li> <li>地域外の人材や企業と地域を継続的につなぐ機会が限られている。</li> <li>行政のみでは新たな関係人口の獲得や全国的な情報発信に限界がある。</li> <li>人口減少や高齢化が進む中で、地域活動や地域づくりを支える新たな担い手が求められている。</li> <li>ふるさと住民制度への登録につながる魅力的なコンテンツが不足している。</li> </ul>		